

市民・事業者とともにあゆむ
川崎市地球温暖化防止活動推進センターへ

2025年1月23日

川崎臨海部フォーラム

川崎市地球温暖化防止活動推進センター
センター長 庄司佳子





◆「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき全国の都道府県知事や政令指定都市などの市長によって指定全国には、現在59か所のセンターが設置

◆地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」「紹介・相談」「調査研究」「情報提供」

◆武蔵溝口駅徒歩4分 マルイ溝の口11階に川崎市の地球温暖化防止活動推進センターとして2011年1月OPEN

広報・
情報発信

環境出前
講座

環境教材
作成

普及イベ
ント・講
座開催



75名推進員と連携 環境出前学習

2023年度 9810人

川崎市地球温暖化防止活動推進員による
6つのプロジェクト+センター

小・中学校
校・高校

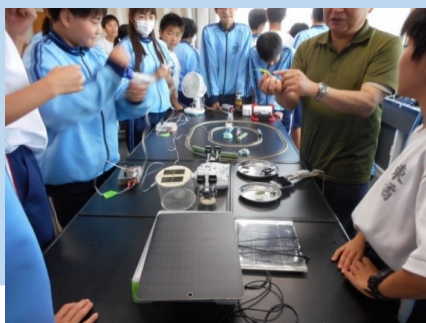
こども
文化セ
ンター

町内
会・自
治会



講座数は31 (2024年現在)

テーマは、脱炭素・
SDGs・省エネ・生物
多様性・消費生活等



市民団体・事業者と連携 普及啓発イベント等

市民団体・企業を講師に、子ども・保護者に
脱炭素アクション体験や学びの場づくり

夏休み自由研究週間～子ども環境ワークショップ～

(株)日崎工業、東京ガス(株)、
プレーメン通り商店街、
日本ゼオン(株)、東京メータ(株)・
プロジェクト団体
等



かわさき環境フォーラム 12月8日
(日)

川崎未来エナジー(株)
(独)環境再生保全機構
東京電力パワーグリッド(株)
川崎市環境総合研究所
無印良品ノクティブラザ溝口
プロジェクト団体
他



中小企業の炭素の見える化事業

エコぷらっとC³

世界初の空気圧エネルギー計測技術によって見逃しがちな**空気圧の使用における空気エネルギーも実際に計測、無駄を省き脱炭素につなげる**

•使用状況をオンライン把握～解析し効率化により使用電力を減らし炭素排出量を削減

•2030年に向けた脱炭素を推進し、コスト削減、今後の取引先からの脱炭素取組に対応

•川崎国際環境技術展に出展
(東京メータ(株)・当センター)



計測

- 電気見える化計測器を設置
- 空気見える化計測器を設置
- 測定データをオンラインで把握

分析

- 計測器データを解析
- 日常的な電気と空気の使用状況をグラフ化

コンサル

- 電気の無駄、空気漏れ等を指摘
- コンプレッサー等の機器の適性を診断

市民と事業者のエコなプラットフォームをめざす取組・2010年スタート

- ①プラスチックの謎を追え！
- ②川崎の大工場見学ツアー（鉄鋼はどのように生まれ、活用されているか）
- ③意見交換会「私たちの取り組む節電」（東電・東京ガス・JFEスチール他）
- ④エネルギー見学ツアー（川崎バイオマス発電所・鷺沼マイクロ水力発電）
- ⑤食べ物と環境
- ⑥川崎の物流

2024年秋 第24回開催



つくる責任・つかう責任 * 市民の役割



対話

市民事業者の協働のものづくり

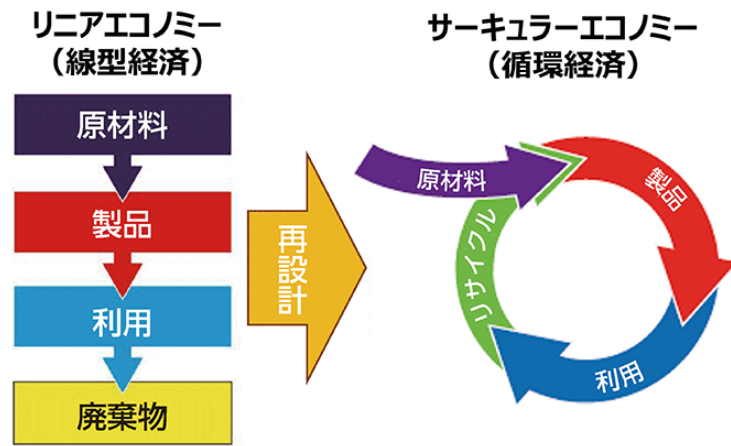
取組みに参加する
消費者の声を発信

行動変容の
きっかけとなる
新情報を常に入手

危機感の共有



図2-2-1 サークュラーエコノミー



※限りある資源の効率的な利用等により世界で約 500 兆円の経済効果があると言われている成長市場 (出典: Accenture Strategy 2015)

12 つくる責任
つかう責任

資料: オランダ「A Circular Economy in the Netherlands by 2050 -Government-wide Program for a Circular Economy」(2016) より環境省作成